

## 学校の特徴

### 学校の規模

- 小学校 28学級
- 児童数 約940人

### 本事例の特徴

すべての教員が共通理解を深めながら授業改善に取り組むための校内研修の充実や「ノート指導の充実」など学習指導の工夫改善に取り組むことにより、基礎・基本の確実な定着を図っています。

## 実践のポイント

### 学力向上にかかわる学校経営推進上の重点

#### 教育課程の工夫改善

- 言語活動を重視した年間指導計画の改善

#### 学習指導の工夫改善

- 指導と評価の一体化
- 思考過程がわかる板書の工夫
- 思考力を伸ばすノート指導の工夫

#### 校内研修の充実

- 研究課題の共有化
- 模擬授業による授業改善
- ワークショップによる全体研修
- 研究内容の焦点化

#### 学校改善プランの充実

- 教務部による学校改善プランの作成
- 調査結果を踏まえた改善プランの見直し

#### 国語科の指導の充実

- 年間指導計画の改善
- 「読むこと」の領域の指導の充実
- 言語活動の充実

#### 家庭との連携

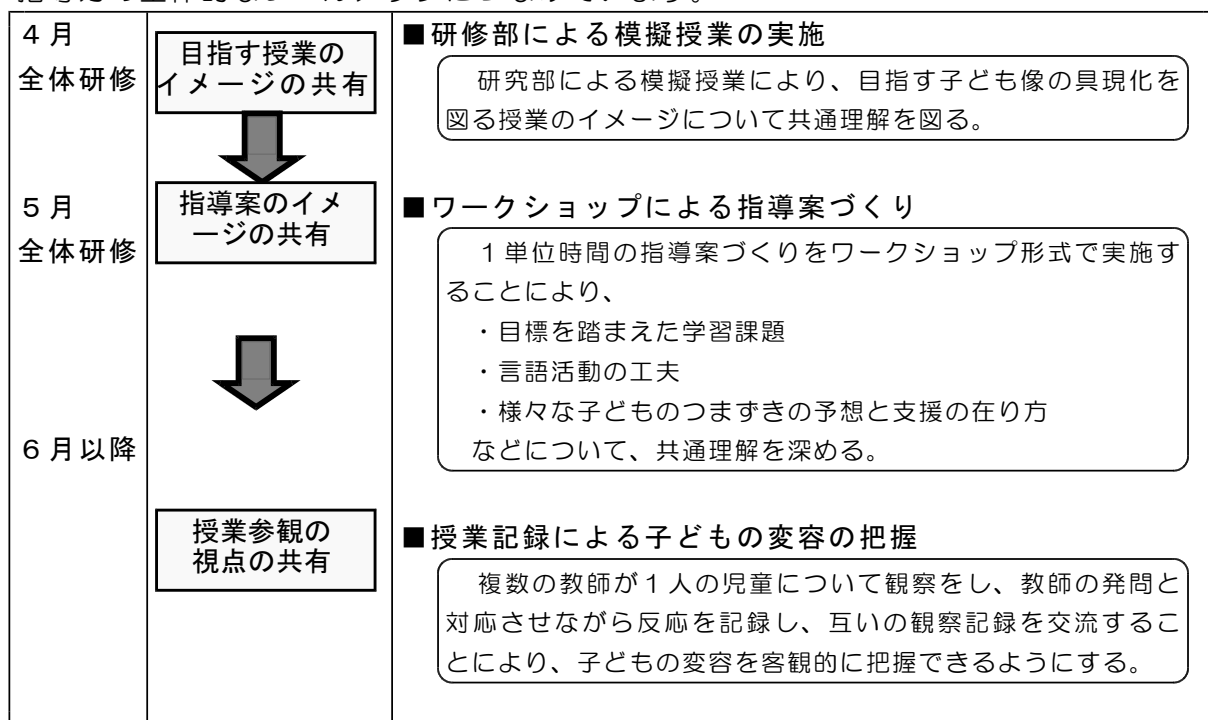
- 保護者懇談会等における研究内容の啓発
- 保護者による授業参観の啓発

## 学校の声

- 校内研修において、模擬授業やワークショップを行い、教員が授業のイメージを共有し、日常の実践に生かすことにより、学校ぐるみで授業改善に取り組もうとする気運が高まってきました。今後も校内研修と授業改善の一体化に努めたいと思います。
- 本校が基本としている学習過程に応じたノート指導を行うことにより、子どもは進んでノートを取り、自分の意見を整理して発言できるようになってきました。また、教員がこれまで以上に、子どもの思考過程を大切にした授業づくりに努めるようになってきました。

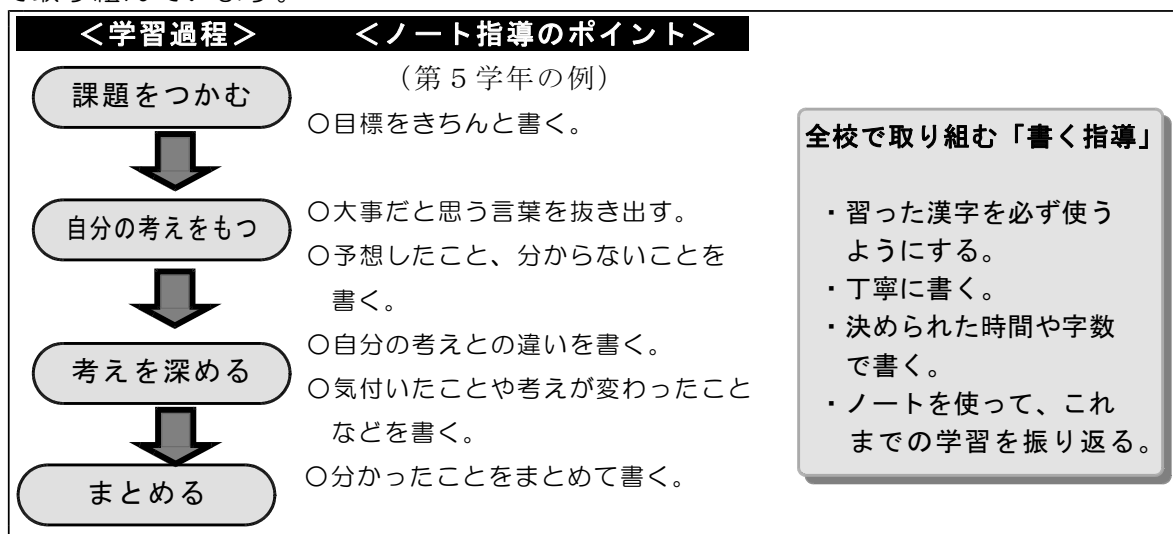
## 校内研修の充実

- 全教職員が授業や指導案のイメージ、授業研究の視点と課題を共有化することで教員の指導力の全体的なレベルアップにつなげています。



## 学習指導の工夫改善

- 本校では、主体的に学ぶ意欲を高めるため、「課題をつかむ」「自分の考えをもつ」「考えを深める」「まとめる」の4つの段階の学習過程を基本とした授業づくりを行っています。また、学年の発達の段階に応じたノート指導を充実させ、思考力を高めるよう全学級で取り組んでいます。



## 学校 実践例 5

# 教育相談の機能を生かした指導や学習指導の工夫により、主体的に学ぶ意欲の向上を図った取組

提言①②

## 学校の特徴

### 学校の規模

- 中学校 9学級
- 生徒数 約280名

### 本事例の特徴

教育相談期間を活用した自学への意欲を高める補充的な学習機会や昼休みを活用し、生徒の学習状況に応じた学習指導の充実などに取り組むことにより、主体的に学ぶ意欲の向上を図っています。

## 実践のポイント

### 学力向上にかかわる学校経営推進上の重点

#### 教育課程の工夫

- 授業時数の確保
- 指導内容の着実な定着を図る指導計画の工夫
- 体験的な活動を取り入れた学習活動の充実

#### 学習指導の工夫

- 個に応じた指導の充実
- 個別指導やグループ別指導等の学習形態の工夫
- 生徒一人一人を見取る評価の工夫
- 補習学習の実施

#### 校内研修の充実

- 生徒一人一人を生かす授業の構築
- コミュニケーション能力の育成を図る学習活動の工夫

#### 組織の工夫

- 教職員の経営参画意識の高揚と一致協力して学校運営に参加する校内体制の充実

#### 家庭との連携

- 学校だよりや学級だより等による学習会等の取組にかかわる情報発信
- 家庭学習の仕方等の情報発信

#### 教育相談の機能の充実

- 教育相談・教科相談の充実
- 好ましい人間関係づくりへの支援

## 学校の声

- 教育相談の面談を通して、日常の授業からはとらえることが難しい生徒の学習上の悩みなど、生徒の内面まできめ細かに把握することができ、個に応じた指導を一層充実させることができました。生徒の本音に耳を傾けることの大切さを改めて実感しました。
- 昼休みなどにおいて、一人一人の課題や学習状況などに応じた学習プリントを活用して補習学習を行うことにより、生徒自らが、課題（授業で理解できなかった内容）を解決しようとする姿が見られるようになりました。また、課題を解決することにより、授業に自信をもって参加する生徒が増えてきました。

## 教育相談の機能の充実

- 教育相談の機能を生かした学習相談を実施し、一人一人の相談内容に応じた課題別学習会を設け、補足的な学習サポートを行っています。

### <課題別学習会の進め方例>

- ① 目的
  - ・教育相談で、生徒一人一人の学習面での課題を明らかにする。
  - ・明らかになった課題について個別指導を行い、解決に向けた学習方法や学習内容を具体的に助言する。
- ② 期間  
平成21年〇月〇日～〇月〇日の3日間
- ③ 時間  
14:10～15:30
- ④ 教科  
数学、英語、理科の3教科
- ⑤ 方法  
学習相談で明らかになった課題について、各教科担当教師が個別指導を行う。
- ⑥ その他  
学習会への参加希望者は、帰宅が遅くなることを保護者に必ず連絡する。

生徒自身も持っている自己の課題意識を尊重し、それらにきめ細かく対応することにより、生徒の学習意欲が高まり、他の自己の課題も解決したいという気持ちが生まれます。

- 課題別学習会の指導体制

	13:00 ~ 14:20	14:30 ~ 15:50
学級担任	教育相談：①グループ(6人×15分)	教育相談：②グループ(6人×15分)
数学担当 (A教諭)	①グループ→個別のプリント学習(3人) ②グループ→グループ指導(3人)	①グループ→グループ指導(2人) ②グループ→個別のプリント学習(2人)
英語担当 (B教諭)	①グループ→個別のプリント学習(2人) ②グループ→グループ指導(3人)	①グループ→グループ指導(2人) ②グループ→個別のプリント学習(1人)
理科担当 (C教諭)	①グループ→個別のプリント学習(1人)	①グループ→グループ指導(2人) ②グループ→個別のプリント学習(3人)

## 学習指導の工夫

- 課題別学習会で高まった自学への意欲を学習の習慣化につなげるため、「昼休み学習会」を継続して実施しています。

### <昼休み学習会の進め方例>

- ① 目的
  - ・教科の基礎・基本をしっかりと身に付ける。
  - ・日ごろ十分に理解できていない部分を補い、理解を深める。
- ② 期日  
平成21年〇月〇日～〇月〇日の月・水・金曜日
- ③ 時間  
13:00～13:20
- ④ 教科  
国語、数学、英語、理科、社会
- ⑤ 方法
  - ・それぞれの教科の学習が行われる教室に集合する。
  - ・特に、分かっていないところを担当の先生に質問する。
  - ・複数の教科を希望している者は、優先順位を付けること。

事前に生徒一人一人に応じた学習プリント等を用意し、苦手分野の克服ができるように配慮しています。

## 学校の特徴

### 学校の規模

- 中学校 12学級
- 生徒数 約260名

### 本事例の特徴

- 共同研究と個人研究をバランスよく取り入れ、授業改善を目指すなど、校内研修の充実や「学習の手引」を活用した学習指導の工夫に取り組むことにより、主体的に学ぶ意欲の向上を図っています。

## 実践のポイント

### 学力向上にかかわる学校経営推進上の重点

#### 教育課程の工夫改善

- 授業時数の確保
- 地域人材の活用を図った環境教育、食育の推進
- 外部講師の招聘

#### 校内研修の充実

- 組織の協働体制の確立
- 教員相互の実践交流
- 学習意識調査を活用した授業の評価・検証
- 研究成果の積極的な発信

#### 学習指導の工夫改善

- 問題解決的な学習や体験的な学習の充実
- TTの充実
- 選択教科における補充、発展学習の充実
- 「学習の手引」の活用

#### 指導体制の工夫

- 指導形態の工夫（少人数指導、習熟度別指導）
- 外部人材を活用した学習支援

#### 家庭との連携

- 学校だよりや学級だよりによる学校からの情報発信
- 家庭学習ガイドの活用による家庭学習の習慣化

#### 教材・教具の工夫

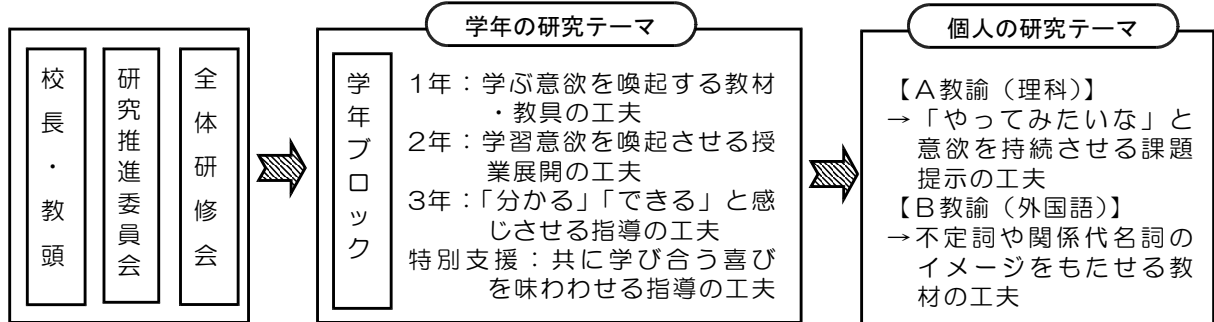
- 関心・意欲、情報活用能力を高める教材・教具の工夫

## 学校の声

- 各教科の学習のねらいや学習の仕方を紹介した「学習の手引」を生徒に配付することにより、生徒は見通しをもって学習に取り組み、教師は生徒に対してより適切な支援を行うことができるようになってきました。
- 校内研修において、教員同士が切磋琢磨しながら指導力の向上を図ることはもとより、保護者や生徒のアンケート等を積極的に生かしながら授業改善を行うことにより、これまで以上に分かりやすい授業が展開されるようになってきました。

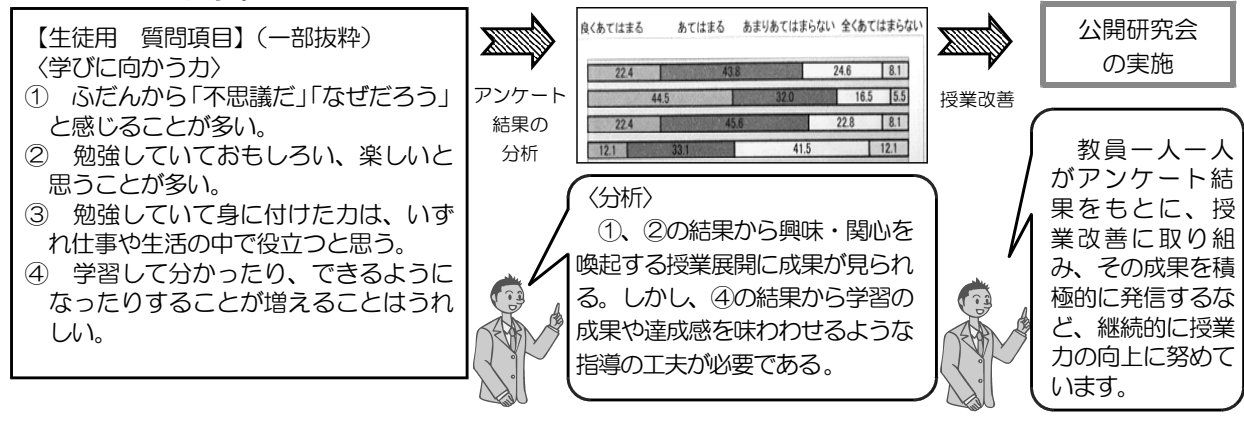
## 校内研修の充実

- 校内の研究主題に基づいて学年ブロックの研究テーマや教員一人一人の研究テーマを設定し、各教科の特色や各自の課題意識に応じた授業実践を行うとともに、学校全体で「学習意識調査」を実施し、授業改善に活用するなど授業研究に主体的に取り組んでいます。
- 研究体制及び研究テーマの設定（一部）



- 「学習意識調査」の実施

学習に対する意識について、「①学びに向かう力、②自ら学ぶ力、③学びを律する力」の3つの観点から生徒と保護者を対象にアンケートを実施し、その結果を授業改善に生かしています。



## 学習指導の工夫改善

- 各教科ごとの学習のねらいや学習の仕方を紹介した「学習の手引」を新入生対象に配付し、生徒が見通しをもって学習に取り組むことができるよう工夫しています。

- 授業を進めるに当たっては、生徒に示した「学習のポイント」を生かし、生徒が見通しをもったり、自力解決したりする場を十分確保するなどの工夫をしています。

### 理科学習の手引き

#### 1 はじめに

理科の学習の基本は、自然の色々なことに対する「なぜだろう?」「どうなるのだろうか?」という疑問を、実験や観察を通して、筋道を立てて考え、解決することです。知識や実験結果をただ丸暗記するだけでは、問題を解決する力はつきまじ、楽しくもありません。疑問（実験や観察のねらい）を解決していく方法（実験の方法）を考え、結果について考察し、その法則性を導き出すということが大切です。

以上の流れを筋道を立てて理解した上で、それに関わる基本的な知識（まとめ）しっかりと記憶することが必要です。そしてそのことが次の学習につながっていきます。ですから、1時間1時間の授業を大切に、復習し、その日にやったことはそのうちに自分の力にしていこう心掛けてください。

#### 2 学習のポイント

- ① 実験・観察の内容をより深く理解すること。

教科書であつかう実験や観察について、結果や要点だけでなく、実験のねらいや操作の手順、注意事項、図の読み取りなどを細かく整理しておく。

- ② 公式や単位を正確に覚えて問題を数多く解く。

公式や単位はただ丸暗記するのではなく、その意味を考え、似た問題を数解きながら使いこなせるようにする。